

# 磐城時報

編輯部 石城郡平町紺屋町十四  
印刷部 石城郡平町紺屋町十四  
電話 二二二二  
代印部 石城郡平町紺屋町十四  
電話 二二二二  
廣告部 石城郡平町紺屋町十四  
電話 二二二二  
印刷部 石城郡平町紺屋町十四  
電話 二二二二

## 相馬双葉の政友候補 佐藤庄太郎氏に決定

### 原町に事務所を設け 直ちに選挙運動開始

第三區に於ける政友派公認候補者は過般石城郡から鈴木辰三郎氏が決定したが、相馬、双葉兩郡の候補者は本部に於て人選中の處三日午後佐藤庄太郎氏に決定したので候補者は相馬郡原町に事務所を設け相馬、双葉に主力を注ぐ事になった。

## 石城郡内 町村議員大會

### 二日平町に開催された石城町村 長支會總會において郡内各町村 會議員大會を開催する件につき

協議したが、大体において來月郡養蠶業組合では廿七日午前十時開き昭和七年年度豫算を協議するの事になった。

## 信和會發會 平町に 於ける旅館雇人は相互の親睦を 計るため信和會を組織すべく準備中

平町に於ける旅館雇人は相互の親睦を計るため信和會を組織すべく準備中である。この會は、旅館雇人の福利を謀ることを目的とし、毎月定例会を開き、相互の親睦を計るとともに、必要に応じて各種の活動を行うこととなる。

## 養蠶評議員會 石城 郡養蠶業組合では廿七日午前十時 開き昭和七年年度豫算を協議する

石城郡養蠶業組合では廿七日午前十時開き昭和七年年度豫算を協議するの事になった。

## 滿州出征軍人 故郷の貧困者に寄附 平署の係員感激

石城郡小名濱町出身の一滿州派遺兵から四日平警察署人事相談所宛に左の如き書状に金二圓を封入し、遺族に際し貧困者救済資金中に寄附して来たが、係の署員も感心な行爲であると賞讃してゐる。

## 石城の米價 九圓に上る

依然として上向きをたどつて行く石城地方の米價は去る一日の大浦農業倉庫における定期共販でまたまた四等米一俵九圓二十百圓、取除く電柱は約百本で、三月末までに工事を終る豫定である。同時に長橋町、久保町、赤井町、舊城跡方面の電話線を、府買上げ米より俵で一圓九十錢アップル線に取替をなす由である。

## 選挙郵便物の 模擬配達を行ふ 平郵便局の選挙準備

平郵便局では選挙に際し選挙郵便物の配達を期すため、模擬配達を行ふこととした。これは、選挙郵便物の配達方法を事前に知らせ、選挙当日のスムーズな配達を確保するためである。

## 赤井消防 舊正月出初式

石城郡赤井村消防組第一分団では、十二時頃平町役場に、舊正月出初式を行ひ、ポンプの水勢試験をなし、昭和七年年度の事務打合せを行ふこととした。

## 井上氏の榮譽 大日本消防の 理事にあげらる

平消防組頭井上茂作氏は大日本消防協會代議士となり、多年消防界に貢献する功績を認め、理事に選出された。

## 十三町の電柱取除き 工事に着手 工費五千余圓で 三月には竣工する

平郵便局では既報の如く平町内の十字街並に交通頻繁な個所の電柱線柱を取除き地下線とするべく調査中であつたが、愈々三日から工事に取掛つた。使役人員は凡そ八百名で工費五、千余圓、取除く電柱は約百本で、三月末までに工事を終る豫定である。

## 米共同販賣 平窪村で 平窪村農會では十八日平窪前農 業倉庫で米穀共同販賣を行ふ。

平窪村農會では十八日平窪前農業倉庫で米穀共同販賣を行ふ。

## 種牝馬の割 石城郡 下に於ける固有種は牝馬の検査 日割並に種付料は左の如く決定 三月十五日上遠野村(ホルバ インステツヤン種)料金二圓 (在來種)十四日田人村(カ ラフオニ種)二圓十六日澤渡 村(ヒーチャムツ種)二圓 (昭和種)一圓。

下に於ける固有種は牝馬の検査日割並に種付料は左の如く決定する。

## 餅代を惠與 石城郡 神谷村村長佐藤久三郎氏は舊年 末に際し村内貧困者片寄スイ外 八名に對し餅米代として二日各 月へ二圓五十錢宛を施與した。

神谷村村長佐藤久三郎氏は舊年末に際し、村内の貧困者に対して餅米代を施與した。

## 匿名にて寄附 本日 十二時頃平町役場に匿名にて金 一封を貧困者に寄附して来たが 行ひポンプの水勢試験をなし、昭 和七年年度の事務打合せを行ふこと とした。

匿名にて寄附された金一封は、貧困者の救済に用いられる。

## 農業者の 郡民大歡迎

農業者の郡民大歡迎。郡民は農業者の労働を感謝し、彼らの生活改善に努める。

### 一月中成績

項目	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	計
一	10	12	15	18	20	22	25	28	30	32	35	38	300
二	8	10	12	15	18	20	22	25	28	30	32	35	250
三	6	8	10	12	15	18	20	22	25	28	30	32	200
四	4	6	8	10	12	15	18	20	22	25	28	30	150
五	2	4	6	8	10	12	15	18	20	22	25	28	100
六	1	2	4	6	8	10	12	15	18	20	22	25	50
七	0	1	2	4	6	8	10	12	15	18	20	22	20
八	0	0	1	2	4	6	8	10	12	15	18	20	10
九	0	0	0	1	2	4	6	8	10	12	15	18	5
十	0	0	0	0	1	2	4	6	8	10	12	15	2
計	18	22	27	33	40	48	57	67	78	90	102	115	500

### 寒中の雷鳴 縁起をかつぐ

石城地方では寒中に雷鳴を聞くことは縁起が悪いとされている。今年も寒中にもかかわらず雷鳴が頻りに響き、人々の不安を醸成している。

## 踏倒し酌婦 石城郡 小名濱四三料理店伊勢屋事務齋藤 ツル方酌婦伊達郡長岡村生れ菊 田タチエ(一八)は前借百五十圓 を踏み倒して逃げたのでツルは 郡山市宇丸丸雜貨商小泉事務佐藤 イキを相手取つて郡山署に告訴 した。

小名濱四三料理店伊勢屋事務齋藤ツル方酌婦伊達郡長岡村生れ菊田タチエ(一八)は前借百五十圓を踏み倒して逃げたので、ツルは郡山市宇丸丸雜貨商小泉事務佐藤イキを相手取つて郡山署に告訴した。

## 落磐で惨死 石城郡 好間村大字上好間古館石川縣 能登郡西尾村生れ古河炭礦支柱 夫平川清(三〇)は三日午前六時 四十分頃古河炭礦新斜坑で作業 中落磐のため惨死した。

好間村大字上好間古館石川縣能登郡西尾村生れ古河炭礦支柱夫平川清(三〇)は三日午前六時四十分頃古河炭礦新斜坑で作業中落磐のため惨死した。

## 児童の死亡率は 低學年に多い

平第二校で統計を作り、學齡児童父兄に注意。低學年の児童死亡率は、高學年よりも高い傾向にある。

## 學齡児童父兄に注意

平第二校で統計を作り、學齡児童父兄に注意。児童の健康と安全を確保するために、父兄は児童の生活環境を改善し、適切な指導を行う必要がある。

大塚の二日市...初賣  
 四日間の良景品大奮發  
 二日市 午前一時開店仕候  
 一番さんより二十番までの特別景品  
 御客様に 進呈

靴は堅い定評ある大塚の靴 (商品切手御利用を)  
 運動具は...専門的...豊富  
 安い...大塚へ  
 大塚支店 製靴部 運動具部  
 平町田町 電話七七七番

例景品付大賣出し  
 吉 金輸出再禁止前の安値仕入品を  
 更にお努めの破格提供!!  
 舊正月二日・三日・四日・三日間  
 大賣出し  
 赤かや洋服店

板硝子と鏡の御用は  
 電話六八〇番へ  
 どんな種類でも用意してあります  
 理髪器具。化粧品一式  
 芳香園理髪器具店  
 常磐線平驛前角  
 電話六八〇番

消費節約  
 品質本位 家庭染料  
 みやぶ染  
 平町一丁目  
 特店約大平や薬店  
 電話四六二番

景品付抽籤賣出し  
 九升入一本御買上毎に  
 汁椀貳個入 壹箱 呈上  
 抽籤券 一枚  
 来二月七日舊正月二日まで  
 絶対に値上げ致しません  
 平町土橋 錦屋酒店 電話二四六番  
 銀治町 谷口酒店 電話五九〇番  
 南町 末廣酒店 電話二〇七番  
 田町 永山酒店

外科 一般外科 内臓外科  
 性病科 X光線科  
 入院隨意(自炊の便あり)  
 元赤心堂病院跡  
 安齊外科醫院  
 電話四七五

和洋銅鐵金物問屋  
 釜屋商店  
 諸橋久太郎  
 電話九九番

大藏大臣免許  
 磐城炭礦一等炭  
 正味十貫匁一俵金卅錢也  
 「品が良く」「値は安く」をモットーとする當店は  
 此度超破格の格安石炭を販賣開始致します  
 値が安くとも品は悪くはありません  
 磐城炭礦の處分的大掘出物です、品物の無くならない  
 中に御注文下さい  
 配達は一俵より致します  
 御注文は  
 電話二三七番へ  
 平停車場前  
 阿部石炭商店

胃腸科 専門  
 十二指 腸胃病  
 皮膚病 婦人病  
 松村科醫院  
 電話七〇一

三幸無盡  
 大藏大臣免許  
 湯本信用無盡社會  
 電話四七番

レコード破りの石炭大特賣  
 磐城炭礦一等炭  
 正味十貫匁一俵金卅錢也  
 「品が良く」「値は安く」をモットーとする當店は  
 此度超破格の格安石炭を販賣開始致します  
 値が安くとも品は悪くはありません  
 磐城炭礦の處分的大掘出物です、品物の無くならない  
 中に御注文下さい  
 配達は一俵より致します  
 御注文は  
 電話二三七番へ  
 平停車場前  
 阿部石炭商店

電話賣物あり  
 番号のよい電話を  
 格安に譲る  
 平町字五丁目二二  
 佐々木株式会社  
 電話二五三番

儀用式  
 折詰法  
 製大造  
 お惣菜用  
 さつま揚  
 吉原揚  
 藤寅  
 平町一丁目  
 電話一四一番